

ふくいネットワーク

ふくい社会福祉

11
No.375



温故知新 ～一途に社協道～

「みんなの想いを背負って戦った！」
～努力は必ず報われる～

第20代 WBA 世界スーパーフライ級チャンピオン
清水 智信 選手

平成23年8月31日(水)、東京・日本武道館で行われた世界ボクシング協会(WBA)スーパーフライ級チャンピオンのタイトルマッチで、王者ウーゴ・カサレス選手(メキシコ)を判定で破り、夢だった世界チャンピオンになることが出来ました。

今回の世界タイトルマッチは、私にとって3度目の挑戦ということで、ボクサー人生をかけた戦いであり“死んでも勝つ”という意気込みでしたので、福井の皆さんの応援が本当に大きな力になりました。

5ラウンド、カサレス選手に攻勢をかけられたとき、私も眼窩底骨折をするほどの極限状態でしたので、正直言ってこれまでなら心が折れていたかもしれません。

しかし、両親・家族、それに私を育ててくださった多くの福井の皆さんの想いを背負っているということが、自分を前に押し出してくれ、戦い抜くことが出来ました。

「今日まで支えてくださった多くの方々に恩返しをしたい」という想いがあったからこそ勝利出来たんだと思います。

いつも私の心の支えになっているのは、「努力は必ず報われる」「諦めなければ夢は必ず叶う」という言葉です。実際、念願の世界チャンピオンベルトを手にし、文字通り「努力は必ず報われる」ことを実感しています。

また、夢を実現するにも、自分一人だけでは何も出来ません。多くの方々の応援があり、そのことへの感謝の気持ちがあってこそ可能になるものだと思っています。

私は、自分のボクシング人生から得た大切な経験を、これから先に無限の可能性をもっている「福井の子どもたち」に是非伝えていきたいと思っています。

今後も、世界チャンピオンとしてタイトルの防衛戦に全力を注いでいきますので、福井の皆さんの熱い応援をよろしくお願いいたします。



写真提供：福井新聞社

<プロフィール>

1981年6月28日生、福井市出身。北陸高校からボクシングの強豪・東京農業大学に進学。大学では主将を務め、国体・全日本選手権で準優勝。金子ボクシングジム所属。2008年4月、第51代日本フライ級王座獲得(4度防衛後返上)。

戦績：アマチュアボクシング。78戦68勝(25 KO・RSC) 10敗、プロボクシング。23戦19勝(9 KO) 3敗1分。

ふくいブランド大使、福井県スポーツ功労特別賞・福井市民栄誉賞。



“福井県社協創設 60 周年記念誌” まもなく発刊!!

60 年の歴史を凝縮。

『60th ふくいに、いっぽいっぽ。』



Contents

- ◆ 巻頭言～会長あいさつ
- ◆ 祝辞、種別協議会寄稿
- ◆ History 社会福祉協議会の歩み
- ◆ 特別企画（座談会）「これまでのいっぽ」
- ◆ 福井県社協正副会長、職員紹介「わたしのいっぽ」
- ◆ 特別企画
 - 「写真でみる全国ボランティアフェスティバル」
 - 「ポスターに見るボランティア月間広報の歴史」
 - 「ポスターに見る車いすマラソンの歴史」
- ◆ 資料編
 - 歴代役員名簿／福井県社協定款

福井県社協は今年で創設 60 周年を迎えています。現在、『しあわせ紡いで 60 年～感謝、そして出発。』をテーマに、さまざまな記念事業を展開中です。その一環として、これまでの実践の歩みを振り返り、新たな一歩（いっぽ）を踏み出すべく、間もなく 60 周年記念誌を発刊します。

特別企画（座談会）これまでのいっぽ

- ◆ 幅広い世代の社協関係者 7 名が「一途に社協道～温故知新」をテーマに、社協の歴史と互いの思いを分かち合います。
 - 創設から現在までを振り返って [前編]
 - 創設から現在までを振り返って [後編]
 - 新しい歩みについて



社協の歩み

- ◆ 60 年におよぶ社協の歴史を年度単位で振り返ります。
 - 第 1 部 誕生 (1950-1964)
 - 第 2 部 昂揚 (1965-1970)
 - 第 3 部 展開 (1971-1980)
 - 第 4 部 躍動 (1981-1989)
 - 第 5 部 協働の力 (1990-1999)
 - 第 6 部 新たな社会福祉の展開へ (2000-2010)



メッセージ わたしのいっぽ



- ◆ 先人が積み重ねてきた歴史の重みを胸に、これからの地域福祉の推進に向けたメッセージを綴ります。
 - 福井県社協会長、副会長のメッセージ
 - 福井県社協専務理事と事務局職員のメッセージ

関係者からのメッセージ

- ◆ 関係者からのご祝辞を紹介しています。
 - 福井県知事
 - 福井県議会議長
 - 種別協議会会長

資料編

- ◆ 歴史をつないできた県社協の歴代役員、定款を掲載しています。
 - 福井県社協歴代役員名簿
 - 福井県社協定款（結成時—法人認可時—現在）

記念誌の発行は、平成 23 年 11 月 19 日の予定です。詳しくは、福井県社協総務企画課 (TEL 0776-24-2339) までお問い合わせください。

特別企画 写真で振り返る歴史

- ◆ 平成に入ってから意欲的に取り組んだボランティア活動の啓発事業を写真やポスターで振り返ります。
 - 「第 2 回全国ボランティアフェスティバルふくい」
 - 「ボランティア月間」広報の歴史
 - 「ふくい車いすマラソン大会」の歴史





福井県社会福祉協議会創設 60 周年記念事業

ふくい つながりフェスタ

2011

ありがとう たびだち
幸せ紡いで 60 年感謝そして出発

日時 平成23年 11月 12日(土)・13日(日)

場所 福井県産業会館 1・2号館

**入場
無料**



お問合せ

ふくいつながりフェスタ2011開催事務局

社会福祉法人 福井県社会福祉協議会 910-8516 福井市光陽2-3-22 TEL: (0776) 24-2339 総務企画課

～主なイベントを紹介します～



まってるよ!

1号館展示場

楽しみながら活動できるボランティア活動の紹介、福祉用具・機器の展示、県内各地の郷土料理やグルメなどの無料試食、特産品・加工品・セルフ商品の即売のほか、お子様にお楽しみいただけるコーナーをご用意しています。

ボランティア活動紹介・体験コーナー

両日とも 10:00～16:00

県内のボランティアグループ・団体の活動を見たり、体験したりできるコーナーです。

参加グループ・団体 (予定)

- 福井県点訳むつみ会
- 折り紙ボランティア千羽づる
- 鯖江マジック倶楽部
- NPO法人ふくい科学学園
- おもちゃ病院
- 福井市ボランティアセンター
- ビューティーケアボランティアグループ水仙
・・・その他調整中

壊れたおもちゃを
もってきてね!

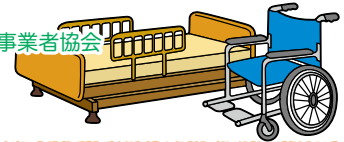


福祉用具・機器展示コーナー

両日とも 10:00～16:00

介護ベッドをはじめ歩行、入浴、排せつ関連用具、食食用具など、介護や生活を助ける福祉用具を多数展示。実際に見て、触れて、体験して下さい。

協力：福井県福祉用具事業者協会



県内特産品・セルフ商品販売コーナー

両日とも 10:00～16:00

県内の特産品・加工品、授産施設が作ったセルフ商品、ファーストフーズなどの販売。

販売品

おにぎり、ちらし寿し、おこわ、米粉パン、スイーツ、焼き芋、ケーキ、焼き鳥、ラスク、マカロン、ボン菓子など。

秋吉も
あるよ!



ご当地グルメ試食コーナー

両日とも 11:00～なくなり次第

県内各地の特産を活かした郷土料理が試食いただけます。但し、数に限りがございますのでなくなり次第終了となります。

出品予定

12日(土)

緑豆クッキー、サバカレー、魚介の串こんにゃく、エチゼンくらげ羽二重餅、サワークリームケーキ、かに鍋、富津産さつまいものオレンジ煮 他

13日(日)

グリーンカレー、菊花入り焼き鯖ずし、魚介の串こんにゃく、山・海・里おにぎり 他

協力：県内各市町社会福祉協議会



ミニ電車 随時運行中!

両日とも 10:00～16:00

大人気のミニ電車を随時運行しています。



その他

福井県民生活協同組合による地域福祉活動紹介(13日 10:00～13:00 は移動店舗による販売もあります。)

福井県社協 60年の歴史パネル展、県内市町社協の活動「笑顔」のパネル展 など。

ふくいつながりフェスタ 2011 開催！！

2号館展示場

『五体不満足』の著者である「乙武洋匡」氏の講演会、公募によるまちづくり企画の公開プレゼンテーション、大人気の『海賊戦隊ゴーカイジャー』ショー、3兄弟ユニット『一途』のミニライブなど、さまざまなステージイベントをご用意しております。また、会場にはエコキャップアートコンテストの応募作品を展示しています。

第58回福井県社会福祉大会

12日(土) 10:00~11:10

乙武洋匡氏 記念講演会

12日(土) 13:00~14:10

大学在学中、自身の経験をユーモラスに綴った『五体不満足』(講談社)が多くの人々の共感を呼び、500万部を超す大ベストセラーに。2007年には小学校教諭二種免許を取得され、現在は、メディアを通じて教育現場で得た経験を発信していく活動を柱としています。



まちづくり企画 「あなたのアイデアがまちを動かす」 (公開プレゼンテーション)

12日(土) 14:20~15:00

一般公募によるまちづくり企画の公開プレゼンテーション。

「海賊戦隊ゴーカイジャー」ショー

13日(日)
11:00~、14:30~
2回公演



©2011 石森プロ・テレビ朝日・東映A.G.・東映

福井ミラクルエレファントの選手もやってくる!

13日(日)のみ

スポーツを通じて“つながる楽しさ”を実感できるコーナーにチャレンジしてみよう!

3兄弟ユニット『一途』ミニライブ

13日(日) 15:00~

「3人がひとつになって、ひたむきに自分たちの信じる道を歩き、常に上を目指そう」という気持ちを込めて命名。今も福井県内の学校や福祉施設等で音楽を通じてみんなの心を一つにする公演活動を続けています。

福井県社協創設60周年を啓発するオリジナル曲「Welfare~ふれあって、つながって、輪になって~」も手掛けています。



エコキャップアートコンテスト

両日とも 10:00~16:00

捨てればゴミになってしまうペットボトルのキャップを使ったアートコンテストの審査・表彰が行われます。みんなの“つながる楽しさ”を表現した約60団体が集合します。(12日には、来場者による一般投票も行われます。)

その他

両日とも 10:00~16:00

福祉車両展示・バルーン配付コーナー など

つながりステージスケジュール

11月12日(土)

10:00～11:10	第58回福井県社会福祉大会
11:20～11:50	つながりフェスタオープニング、福祉車輛贈呈式
13:00～14:10	乙武洋匡氏講演会
14:20～15:00	まちづくり企画「あなたのアイデアがまちを動かす」(公開プレゼンテーション)

11月13日(日)

10:30～10:50	「WENDYS」チアリーディングショー
11:00～11:30	「海賊戦隊ゴーカイジャー」ショー
12:45～13:30	福井県ボランティア作文コンクール表彰式
13:30～14:00	「みんなで舞台に立とう」(障がいをもつ子ども達によるステージ発表)
14:00～14:30	「そんな街いいな合唱団」(障がい者と健常者合同による歌のステージ)
14:30～15:00	「海賊戦隊ゴーカイジャー」ショー
15:00～15:30	3兄弟ユニット「一途」ミニライブ
15:30～16:00	エコキャップアートコンテスト表彰式、フィナーレ

※会場周辺道路が混み合う場合もございますので、お時間に余裕をもってお越しください。
 ※当日の状況により、プログラムの一部の時間が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。

屋外展示場

環境にやさしい電気自動車の試乗体験やお子様に大人気の『ふわふわ』などがございます。

電気自動車試乗体験コーナー

12日 11:00～16:00
 13日 10:00～16:00

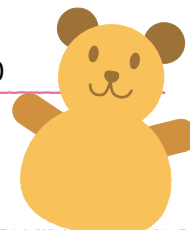
環境にやさしい電気自動車に試乗体験いただけます。
 協力: エコプランふくい



ふわふわコーナー

両日とも
 10:00～16:00

※荒天時には、中止となる場合もありますのでご了承ください。



ご来場される皆様へのお願い

- 記念講演会開始後は、2号館展示場への出入りを制限させていただきますので、講演会へご来場の皆さまは講演開始10分前には会場に御来場ください。
- 福井県ボランティアセンターでは、気軽にできるボランティア活動のひとつとして、期間中、収集ボランティア活動コーナーを設けます。ご家庭や職場で収集された以下の物をどしどしお持ちください。

収集する物 使用済み切手、書き損じハガキ、外国コイン、使用済みインクカートリッジ、使用済みプリペイドカード、ベルマーク、グリーンスタンプ



クイズ&スタンプラリーに参加しよう!

両日とも 10:00～16:00

期間中、1号館・2号館の各コーナーを回ってクイズに答えたり、体験コーナーでスタンプを集めると、素敵な記念品をプレゼントします。



県社協からの大切なお知らせ

昭和 46 年度から今日まで 40 年以上の長きにわたり実施してまいりました「**民間社会福祉事業振興資金貸付事業**」は、社会福祉法人等の施設整備や資金管理等について計画的・効率的な経営がなされている今日、年々需要が減少し、一方で、他の有利な融資制度が数多く運営されていることなどから、**平成 23 年度末をもって新たな資金の貸付を中止**することになりました。

なお、県社協は今後とも本会会員である社会福祉法人等経営者の皆さまが健全で安定した運営がなされるよう、施設整備等のための適切な資金調達をはじめとする個々の課題の解決に向け、専門家および経営者団体等と緊密な連携をとりながら適切な支援に努めてまいります。

～福井県社協創設 60 周年記念事業～

第 38 回名士・作家作品展示頒布会（チャリティーアート展）のご案内

各界でご活躍されている福井県にゆかりのある名士・作家の方々からご贈りいただいた作品を一堂に展示し、入札により希望者に頒布いたします。頒布会の収益は、民間福祉団体等が行う地域福祉の充実を図る様々な事業の支援に充てさせていただきます。

皆様方のご来場を心よりお待ち申し上げますとともに、社会福祉事業へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

会 期 平成 23 年 11 月 25 日（金）～ 28 日（月）
午前 10 時～午後 6 時（最終日は午後 4 時まで）

会 場 福井県民ホール（JR 福井駅東口 アオッサ 8 階）

展示作品 名士・作家のご寄贈による絵画・書・陶芸作品・写真など多数

お問合せ 福井県社会福祉協議会 総務企画課
TEL (0776)24-2339（代表） E-mail somu@f-shakyo.or.jp

主 催 社会福祉法人 福井県社会福祉協議会

後 援 福井県



今年度、本頒布会の浄財を活用し 11 月 12 日（土）の「つながりフェスタ」で福祉車輛「チャリティーアート号」を以下の 6 団体に寄贈させていただくこととなりました。

永きに渡り、ご協賛いただいております名士・作家の皆様方にこの場をお借りいたしまして、厚くお礼申し上げます。

スズキ ワゴン R ●社会福祉法人 若狭町社会福祉協議会 ●社会福祉法人 福井県福祉事業団若越みどりの村
●特定非営利活動法人 子育てサポートセンターきらきらくらぶ

日産 セレナ ●特定非営利活動法人 さわやかさばえボランティア虹 ●社会福祉法人 かすみが丘学園

トヨタ ハイエース ●社会福祉法人 勝山市社会福祉協議会

平成 23 年度 認知症介護公開講座 開催のご案内

【日 時】平成 23 年 12 月 4 日（日）13:30～15:45

【会 場】福井県自治会館 2 階「多目的ホール」

【参加費】無 料

【参加者】一般の方、福祉・医療関係者、行政職員、民生委員、福祉・医療系学生等

【内 容】【講 演】「認知症を正しく理解するために」

（講師） 福井県立すこやかシルバー病院 院長 伊藤 達彦 氏

【介護体験談】「認知症介護を体験して」

（発表者） 前若狭町長 千田千代和 氏

（社）認知症のひとと家族の会福井県支部 坂井 政明 氏

（進行・コメンテーター）

福井県立すこやかシルバー病院 院長 伊藤 達彦 氏

【申込方法・お問い合わせ先】

平成 23 年 11 月 21 日（月）までに、電話、FAX または Eメールにて下記まで申し込んでください。

社会福祉法人福井県社会福祉協議会 福井県介護実習・普及センター
TEL: 0776-24-0086 FAX: 0776-24-0063
Eメール: kaigo@f-shakyo.or.jp

寄贈・寄附

誠にありがとうございました。

9 月 29 日
福井県生命保険協会様（福井市）
福祉巡回車 1 台

社会福祉事業の発展のために活用させていただきます。



スマイル

未来に笑顔



Profile

多田 実央 さん

福井県総合福祉相談所
児童心理司 4年目

このコーナーでは、「笑顔（スマイル）」をキーワードに福祉職の方々に登場いただき、福祉の現場で活躍しているからこそ『見える』『言える』、福祉の魅力について語っていただきます。

悩みを抱える子どもの力になりたい

私は、子どもが大好きで将来は悩みを抱えた子どもたちの力になる仕事がしたいと思っていました。きっかけは、高校生のころ児童相談所の仕事を知り「やりたかった仕事はこれだ！」と確信しました。

子どもの希望をかなえたい

児童相談所では、児童虐待、障がい、子どもの発達や性格行動、子どもの養育など、様々な相談を受けています。私の仕事は、面接や心理検査、行動観察などを行って子どものことを理解し、よりよい支援を検討することです。

子どもの最善の利益を考慮して援助方針を決定したり、通所による心理療法を行ったりしていますが、保護者の意向や社会的資源の状況などにより、子どもの希望をすべてかなえられるわけではありません。継続的な通所がかなわないなど、ときには、辛い思いをさせてしまうこともあります。

私にできることは希望を失わずに、子どもたちの気持ちに寄り添っていくことだと思っています。



これまでの経験から感じた仕事のやりがい

子どもに手をあげていた保護者が、相談所で話を聞き、子育て支援サービスを利用することになったことで心に余裕が生まれ、子どもの立場に立って物事を考えてくれるようになったこと、手をあげることでもなく、保護者にも子どもにも笑顔が増えたときにはとてもうれしくやりがいを感じます。



面接風景

また、同僚や経験豊富な先輩と仕事をともにすることで、日々多くのことを学び、貴重な経験になっています。

仕事に携わる上で大切にしていること

自分が今までとても小さな世界で生きてきたことに気付かされました。自分の尺度で相手と接することのないように気をつけています。そのために、公私ともに様々なことに挑戦し、たくさんの人と出会い自分の視野を広げたいと思っています。

笑顔の素

子どもやその家族の笑顔

子どもやその家族の笑顔がなによりも笑顔の素です。子どもたちにももらった絵や手紙などを大切にとってあります。あと、ストレスの多い仕事なので、休憩時間はお菓子が必要なんです。



子どもにももらったミサンガとお菓子

今の目標

福祉職として経験の浅い私ですが、相手と誠実に向き合い、悩みに寄り添っていきたいです。

「あの人に相談してみようかな。あの人が話したら何んとなく楽になったな。」と思ってもらえる人でありたいです。

取材を終えて

優しい笑顔がとても印象的でした。きっと、子どもたちにとって優しいお姉さんという存在なのでしょう。相手の話に真摯な態度で耳を傾けられ、誠実さが伝わってきました。子どもたちにとって、これからも笑顔の素敵なお姉さんでいてください。